



# そうだしつで遊んだよ

湯田幼稚園ことばの相談室

2020年（令和2年）9月15日

今年の夏は、ことのほか厳しい暑さが続きました。ようやく、残暑のなかにも、園庭をぬける風の涼しさに秋の訪れを感じる今日この頃です。子どもたちは、アサガオの花がらを使って色水遊びをしたり、竹ポックリにチャレンジしたりと友だちと関わり合いながら楽しく遊んでいます。

さて、昨日は、月組になって初めての「ことばの相談室であそぼう」がありました。「ことばの相談室」ならではの遊びを経験することで、心やことばが豊かに育ってほしいと願っています。今回は、前半と後半の2グループに分かれて遊びました。子どもたちは相談室で遊んだことを何かお話ししましたでしょうか。少し、遊びの様子をお知らせします。

## 手遊び「たいやきたこやき」

ねらい：左右の違う動きをコントロールし、調整力を高める。

子どもが最初に出会うおもちゃは、自分の指だと言われています。手遊び「たいやきたこやき」は、パーに開いた手をたいやき、グーに結んだ手をたこやきに見立てます。曲に合わせて、その手を前後に出すだけの遊びですが、左手と右手が違う動きをすることで頭のなかがかんがらがって……。思わず「グーとパーがむずかしくて」と懸命に動きを調整していました。



♪ たいやきくんと  
たこやきさんが  
かけっこしたよ  
どっちがどっちが  
どっちがどっちが  
はやいかな ♪

## ストロー魚つり（吸うあそび）

ねらい：構音器官の働きを高める。

吹くことは、発音をするために欠かせない働きのひとつです。同時に吸うことも大切な働きのひとつです。今回は、吸うあそびを取り入れました。曲がるストローで、吸って魚を釣る遊びです。息を「吸う」「止める」「はく」のコントロールが必要です。遊びはじめは、吸うコツがつかめず四苦八苦していましたがやがてコツを掴み始めました。「吸い続けたらいい」「牛乳を飲むようにすればいい」「げぼが出るくらいがんばった」と子どもたちの声。お土産として持ち帰った魚で魚つりをして遊んでください。楽しく遊びながら息の調節や唇の働きが高まるといいですね。



## 心をことばにのせて

ことばは、人と人をつなぐ見えない糸。心をのせて運ぶ透明の乗り物。できることなら、その糸で楽しさや優しさを伝え、それにのせられた温かい心を受けとめたいですね。